

【「熊本の心」推進協議会賞】

地域のつながりと私たちの暮らし

天草市立本渡中学校 3年 梅本 佳英

「熊本の心」について考えた時、私は自分の住んでいる地域を思い出しました。家族だけでなく、周りの人々と助け合い、励ましあいながら、笑顔で暮らす、そんな故郷を。しかし、今、そんな地域の様子が少しずつ変わってきています。

皆さんはご近所付き合いや地域の活動に積極的に参加していますか。私の住んでいる地域では、小学生の時に比べ行事に参加する人の人数が年々減少し、地域の活発さが低下しているように感じます。

内閣府のデータを見てみると、地域での付き合いに参加している人は全国的に見て、55.1%と約半数。では地方ではどうだろうと思って見てみると、地域の活動に参加している人は62%で、決して多いとは言えない結果でした。参加していない人々の主な理由は「面倒くさい」「忙しい」といったものが多く、デメリットばかりに目が向いている様子でした。

しかし、地域活動に積極的に参加することにはメリットもたくさんあります。例えば、火事や災害の時、周囲に住む人々と顔見知りであればあるほど、親身になって助け合うことができ、夜の不安な時間帯も協力して見巡りをすることで防犯対策を行えます。小さい頃から家族で参加していれば、子供同士の交流も深まり、将来心配される過疎化に歯止めをかけるブレーキの一つにもなり、地域活性化につながると考えられます。交流の場で語られることは地域にとって重要なことも多く、情報の共有もできます。

もちろんデメリットもあります。昨今多く見られるのが、地域の間人間関係や付き合いの中でのトラブルです。情報共有の中でのウワサや過度な干渉が影響してしまうことが少なくありません。しかし、そうした理由で”地域との付き合い”を諦めてはもったいないと思います。このデメリットを解決するためには、地域のルールを正しく守り、お互いが距離感を大切にし、深入りしすぎないようにすることが大切だと思います。笑顔で挨拶や言葉を交わすだけで良い関係性を築くことにつながります。地域の行事も無理して毎回参加するのではなく、自分の都合に合わせて、できるだけ参加すれば良いのです。周囲もそれを当たり前であるという雰囲気を受け入れることができれば、よりよく過ごせるはず。

このように、ご近所付き合いをすると良いことがたくさんあります。私は天草で暮らすこれまでの生活で、地域に助けられた経験がたくさんあります。デメリットに感じている人も、今の付き合い方を見直し、少し改善するだけで、地域が一つの心の拠り所となり、地域活性化にも大きくつながると思います。

まずは笑顔で挨拶をしてみることと、地域活動を知ることから始めませんか。私も、志高く、伝え続けていきたいと思っています。